

レジメンcode:	C85-37
適応がん種:	悪性リンパ腫
レジメン名:	G-Bendamustine
間隔:	4週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	ガザイバ	1000	mg/body	点滴[*1]	[*2]d1
	トレアキシシ	90	mg/m ²	点滴(1時間)	[*3]d1、2

[*2]ガザイバは、1サイクル目は1週間毎に3回投与する(day1、8、15)。2サイクル目以降はday1に投与する。

[*3]トレアキシシは1サイクル目はday2、3に投与し、2サイクル目からday1、2に投与する。

*ガザイバ単独療法における維持療法:

G-Bendamustine6サイクル投与後(最終投与日)から2ヶ月後(56日±14日)にC85-38ガザイバ維持療法を開始し、病勢進行が認められるまで2ヶ月(56日±14日)毎、最大2年間にわたって継続投与する。

【1サイクル目】

【内服】

day1、8、15

1) カロナール	500mg	2錠
	内服	ガザイバ投与30分～60分前

【注射】

day1、8、15

1) デキサート	6.6mg	3 V
ポララミン	5mg	1 A
生食	50ml	1本
	主管①	点滴 15分 内服前投薬確認
2) 生食	50ml	1本
	主管②	点滴 1時間
3) ガザイバ		1000 mg/body インラインフィルター必須
生食	210ml	
	主管③	点滴 [*1]・初回は12ml/hr→25ml/hr→37ml/hr→50ml/hr→62ml/hr →75ml/hr→87ml/hr→100ml/hrと30分毎に投与速度を上げる。 ・2回目以降は25ml/hr→50ml/hr→75ml/hr→100ml/hr と30分毎に投与速度を上げる。
4) 生食	50ml	1本
		フラッシュ
5) ヘパリンNaロック	10ml	1筒
		ルートロック

〈所要時間 約5時間〉

〈初回 約6時間〉

day2、3【ケモセーフ使用】

1) グラニセトロン	3mg	1 A	
デキサート	3.3mg	1 A	
デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	主管①	点滴	15分
2) トレアキシシ		90 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	250ml	1 袋	
	主管②	点滴	1時間 調製後、6時間以内に投与を終了すること
3) 生食	50ml	1 本	
			フラッシュ
4) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒	
			ルートロック
			〈所要時間 約2時間〉

【2～6サイクル目】

【内服】

day1

1) カロナール	500mg	2 錠	
	内服		ガザイバ投与30分～60分前

【注射】

day1【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	3 V	
ポララミン	5mg	1 A	
生食	50ml	1 本	
	主管①	点滴	15分 内服前投薬確認
2) 生食	50ml	1 本	
	主管②	点滴	1時間
3) ガザイバ		1000 mg/body	インラインフィルター必須
生食	210ml		
	主管③	点滴	
			2回目以降は25ml/hr→50ml/hr→75ml/hr→100ml/hr と30分毎に投与速度を上げる。
4) グラニセトロン	3mg	1 A	
生食	50ml	1 本	
	主管④	点滴	15分

次ページあり

5) トレアキシシ			90 mg/m ² 【ケモセーフ使用】
生食	250ml	1 袋	
	主管⑤	点滴	1時間 調製後、6時間以内に投与を終了すること
6) 生食	50ml	1 本	
			フラッシュ
7) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒	
			ルートロック
			〈所要時間 約7時間 〉

day2【ケモセーフ使用】

1) グラニセトロン	3mg	1 A	
デキサート	3.3mg	1 A	
デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	主管①	点滴	15分
2) トレアキシシ			90 mg/m ² 【ケモセーフ使用】
生食	250ml	1 袋	
	主管②	点滴	1時間 調製後、6時間以内に投与を終了すること
3) 生食	50ml	1 本	
			フラッシュ
			〈所要時間 約2時間 〉

*抗ヒスタミン薬、解熱鎮痛剤、副腎皮質ホルモン等の投与を行った患者においても、重篤なinfusion reactionが発現したとの報告がある。

*腫瘍崩壊症候群の発現リスクが高いと考えられる患者に対しては、補液、フェブリクの投与を考慮する。